

# 一 般 質 問

平成25年9月18日（水）

12番 蜂谷三雄 議員

## 1. 安倍内閣骨太方針について

①政府は、経済財政諮問会議で4年ぶりとなる「骨太方針」をまとめ6月14日に閣議決定している。そのなかで、地方財政計画一般財源総額の削減が盛り込まれている。リーマンショック以後に設けられた危機対応モードから平常モードへとして地方交付税の削減。さらに「頑張る地方支援」として更に人件費削減など国の政策誘導を交付税に持ち込もうとしている。そもそも平常モードに戻すなら小泉構造改革の「三位一体改革」交付税削減前に戻すのがスジである。地方固有の財源である交付税の削減を許さない取り組みを強化する必要がある。市長の見解を伺う。

## 2. 福祉灯油制度について

①石油製品の高騰は今年に入り高止まっており、今冬の低所得世帯における生活の困難が予想される場所である。2008年に実施した月よりも単価は高い福祉灯油制度を今冬は実施すべきと考える。

## 3. 浜益特養ホーム等増設について

①第5期介護保険事業計画における増設の具体的な作業はどう進んでいるか。

## 4. 厚田地区の風力発電機設置計画について

①この計画は石狩市も深く関わっている。これまで3回の事業者住民説明会は拙劣であったと指摘せざるを得ない。特に環境影響など説明責任について。

- イ. 低周波、超低周波音に対する認識
- ロ. 風車出力と売電量について
- ハ. 機材の搬入方法

## 5. 指定管理者の導入について

- ①指定管理者導入の政策的判断基準を示されたい
- ②指定管理事業者の雇用形態と賃金水準について

## 6. 放射線測定について

①環境対策として定期的な放射線量測定と公表を

1. 北極海航路における石狩湾新港の可能性について

- ①日本海側の拠点港である石狩湾新港の地元としての情報収集・研究などについて伺います
- ②道も国際戦略を策定しておりますが、道の推進方策に市として今後どう関わっていくのか
- ③北極海航路のアジアにおける玄関口に石狩湾新港が成り得るのか可能性について伺います

2. 地域自治について

- ①地域づくり基金条例の延長について
- ②厚田資料館に変わる多目的施設の建設について

3. 仮称 厚田ふるさとの森について

- ①地域関係団体と協議を持たれているが地域の想いがどの様に反映されるのか
- ②ワークショップ後から現在までの取り組みと今後のスケジュールについて
- ③この事業を何年間で実施しようと考えているのか
- ④区域内で計画されている風力発電の進捗状況について

1. 防災について

- ①大津波への認識と避難ビルの確保、避難路確保のための花川通延伸について
- ②異常気象に伴う豪雨によるガケ崩れ対策について
- ③上級救命講習の定期的な受講の実施について

2. 観光について

- ①今後の更なる観光振興への取り組みについて
- ②（仮）はまなす園の進捗状況と展望について
- ③映画製作等の誘致を増やすための営業担当者設置について

3. 生物多様性の保全について

- ①鹿による食害対策のためのオオカミの導入について
- ②トド・アザラシなどの海獣との共生について

4. 過疎集落対策について

- ①集住化による集落再生拠点の創設について

5. 公文書管理について

- ①公文書管理の専門職の配置について

6. 表現の自由について

- ①「はだしのゲン」の閲覧制限への認識について